

論理的思考ノススメ 解説・解答

論理的思考は過去に経験したことのない問題に対し、直感や常識で判断するのではなく、状況を冷静に分析し論理的な判断を導きます。「もし〇〇だったら…」という仮説と検証を繰り返す考え方です。

では今回の問題を見ていきましょう。

1 人目の正体は？

まず A が先生であると仮定します。

先生は真実しか言いませんから「先生ではない」という発言は仮説との間に矛盾が生じてしまいます。

つまり **A が先生ということはありません。**

では A は泥棒なのでしょうか？

その場合「私は先生ではない」という発言は嘘となります。

つまり、「先生である」ということに…。

これも仮説と発言に矛盾が生じてしまいました。

A は泥棒でもありません。 残された可能性は一つ。

A は「業者」です。

2 人目の正体は？

次に B の正体を考えます。

B が先生であれば「泥棒ではない」の発言は真実となり、**仮説との間に矛盾は生じません。**

では B が泥棒であった場合は？

常に嘘をつく泥棒の発言との間に矛盾は生じません。つまり…

B が先生か泥棒かは、まだ特定できません。

3 人目の正体は？

B が特定できないので、C について考えます。

C が先生と仮定すると「業者ではない」との発言は真実で矛盾はありません。

では泥棒と仮定した場合はどうでしょう？

「業者ではない」の発言は嘘、つまり業者であることになり仮定と発言が矛盾します。

よって C は「先生」でしかありません。

そして**最後に残った B が泥棒です。**

正解 | A：業者 B：泥棒 C：先生

どうでしたか？ 簡単すぎましたか？